

NO:14-000031A

報道各位

2014年8月23日

ヒューマンアカデミー株式会社

第4回ヒューマンアカデミー キッズサイエンス全国大会

「未来のロボット博士」「こども科学者」が東大に集結

2014年8月30日(土) 東京大学 本郷キャンパス内で開催

協賛:株式会社デアゴスティーニ・ジャパン、東京法令出版株式会社

ヒューマンホールディングス株式会社の事業子会社で、教育事業などを運営するヒューマンアカデミー株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役 岡本成正)は、2014年8月30日に東京大学本郷キャンパス内『伊藤国際学術研究センター』にて、「ヒューマンアカデミー キッズサイエンス」の全国大会を開催いたします。

この大会は、ヒューマンアカデミーロボット教室、理科実験教室に通う子どもたちの、年1回の学習成果の発表と交流の場とし、互いに切磋琢磨することによってサイエンスへの更なる興味につながることを目的としております。第4回目の今大会は、各地予選を勝ち抜いた総勢28名の未来のロボット博士が、アイデアと技術を披露します。

日本のロボット技術は世界一と言われており、ロボット産業・先端科学技術産業は、将来の主幹産業になると推測されます。7月にブラジルで行われた自律移動ロボットによるサッカー大会「ロボカップ世界大会2014」で千葉工業大学未来ロボティクス学科のチーム「CIT Brains」が優勝するなど、世界から注目されています。

そのような情勢の中、ヒューマンアカデミーでは2009年に高橋智隆先生監修の「ロボット教室」を開始し、2013年に福島原発建屋内撮影で貢献したロボット開発で知られる千葉工業大学の古田貴之先生監修の「ロボティクスプロフェッサーコース」を開講しました。今後も、段階に応じたロボット教育プログラムを提供することで、子どもたちをとことん数学・物理好きにすると同時に、ロボット産業の活性化に貢献する所存です。

**ヒューマンアカデミー ロボット教室概要**

教室数は全国607教室、在籍生徒数は5,496人(2014/6現在)となりました。

高橋智隆先生監修のロボット教室は、主に小学生を対象とした教室で、「スタートアップ講座」(1か月)からはじまり、「ベーシックコース」(18か月)「ミドルコース」(18か月)「アドバンスコース」(12か月)のコースがあり、1か月に1体のロボットを組み立てて動かします。

千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター(fuRo)所長の古田貴之先生監修のロボティクスプロフェッサーコースは、ロボット設計カリキュラムと動作プログラミングを学びます。

この度、大会及び高橋先生、古田先生の取材体制が整いました。ご多忙中とは存じますが、ご取材いただけると幸いです。

本件に関するお問い合わせ ヒューマングループ 広報担当:原まで
TEL:(03)6388-0108 FAX:(03)6846-1220 E-mail: kouhou@athuman.com

◆第4回ヒューマンアカデミー キッズサイエンス全国大会概要◆

- 日時：2014年8月30日(土) 11:00~17:30
- 会場：東京大学本郷キャンパス内 『伊藤国際学術研究センター』
(東京都文京区本郷7-3-1)
- 内容：①ロボットアイデア(創作ロボット)コンテスト
②ロボットテクニカル(スピード競技)コンテスト
③理科実験・自由研究発表コンテスト
④ロボット教室アドバイザー高橋智隆先生講演
⑤ロボティクス プロフェッサーコース
アドバイザー古田貴之先生講演
⑥現代美術作家 ヤノベケンジ氏講演
⑦ロボティクスプロフェッサーコースデモンストレーション・体験会

【ロビ特別賞】

最優秀賞とは別に、ロボットアイデア・ロボットテクニカルコンテストの中から1名に「ロビ」が授与されます

(提供:デアゴスティーニ・ジャパン株式会社)

当日のスケジュール(予定)

- 11:00 開会、主催者挨拶、審査員紹介
- 11:20 ロボットテクニカルコンテスト1回戦
- 11:50 千葉工業大学 古田貴之先生による講演
- 12:30 昼食休憩
- 13:30 ロボットアイデアコンテスト
- 14:30 京都造形芸術大学教授 現代美術作家ヤノベケンジ氏による講演
- 15:00 理科実験自由研究発表会、法政大学化学教授 山崎友紀先生の総評、お話し
- 15:30 ロボットテクニカルコンテスト決勝トーナメント
- 16:10 高橋智隆先生による講演・ロボットコンテスト総評
- 16:50 表彰式、主催者総括&閉会の辞

■ロボットアイデア(創作ロボット)コンテストとは？

子ども達のアイデアを結集したオリジナルロボットをを実際に動かして、動きやデザインの特徴、工夫点などを2分以内でプレゼンテーションします。

※対象受講コース:ベーシックコース、ミドルコース、アドバンスコース



■ロボットテクニカル(スピード競技)コンテストとは？

光センサーを利用して製作したオリジナルロボットを、規定コース上で走らせスピードを競います。自律走行させてスピードを競うルールとなっています。

※対象受講コース:アドバンスコース



■理科実験・自由研究発表コンテストについて

理科実験教室に通う生徒が、実験テーマに沿った題材から、自分なりに自由に研究し、研究結果を7分以内で発表します。

※理科実験教室を受講開始している生徒(初級、中級、上級の全コースが対象)



■審査員・講演者プロフィール

■ロボット審査員

ロボット教室アドバイザー

ロボットクリエイター 高橋智隆先生

2003年京都大学工学部卒業。代表作に「週刊ロビ」「エボルタ」「ロピッド」「FT」など。世界で初めてコミュニケーションロボット「キロボ」を宇宙に送り込む事に成功。ロボカップ世界大会5年連続優勝。米TIME誌「2004年の発明」、ポピュラーサイエンス誌「未来を変える33人」に選定。現在、(株)ロボ・ガレージ代表取締役、東京大学先端研特任准教授。



現代美術作家 ヤノベケンジ氏

現代美術作家。京都市立芸術大学大学院修了

火を噴く巨大ロボットやドラゴンなど子供の頃の夢を実現するかのような大型機械彫刻を作り続ける。コンセプトは「サヴァイヴァル」。1997年にチェルノブイリを訪問する「アトムスーツプロジェクト」等を行うなど社会的メッセージが込められている。2011年には震災復興の希望のモニュメントの子ども像「サン・チャイルド」を制作。「瀬戸内国際芸術祭」「あちトリエンナーレ」(2013)ではビートたけしとのコラボレーション作品を発表、大きな話題を集めた。現在京都造形芸術大学教授。



■特別講演

ロボティクスプロフェッサーコースアドバイザー

千葉工業大学常任理事

未来ロボット技術研究センター(fuRo)所長

古田貴之先生

未来ロボット技術研究センター(fuRo)は学校法人千葉工業大学のロボット研究拠点であり日本で初めての法人直轄の研究所として2003年6月に誕生。同所所長として、様々な国家プロジェクトを手掛けてロボット界を牽引する第一人者。fuRoが開発したレスキューロボット「原発対応版Quince(クインス)」は2011年7月以降、高い放射線量で作業員らの立ち入りが困難な福島第一原子力発電所の建屋に入って内部の状況を撮影。福島第一原発に投入された国産ロボットの開発など多くの国家プロジェクトを手掛ける。



会社概要

ヒューマンアカデミー株式会社

●代表者 : 代表取締役 岡本 成正

●所在地 : 東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿木村屋ビル 1階

●資本金 : 1,000万円

●URL : <http://kids.athuman.com/robo/CI/>

本件に関するお問い合わせ ヒューマングループ 広報担当:原まで
TEL:(03)6388-0108 FAX:(03)6846-1220 E-mail: kouhou@athuman.com